

# 日本を代表する真の「実力派テノール歌手」錦織健

人気テノール歌手・錦織健の多彩な活動ぶりは、まさに際立っている。オペラやクラシック・コンサートのみならず、「ロック to バロック」と題した企画ではロックも歌い、ある時は「宇宙戦艦ヤマト」を熱唱し、紅白歌合戦をはじめとするテレビやラジオにもたびたび出演。また2002年より「錦織健プロデュース・オペラ」を手がけ、2015年には第6弾モーツァルト作曲「後宮からの逃走」を上演の予定。また日本歌曲にも力を注ぎ、2011年には代表的な日本の叙情歌の数々をニューアレンジで新録した「日本を歌う～故郷～」を発表し話題を呼んだ。また、去年は代表的なアリアの数々を全曲新録した「アリアを歌う」を発表し、円熟味を増した歌唱でファンを魅了した。

だが同時に彼は、声楽家にとっての基本である「イタリア古典歌曲」も機会あるごとに取り上げ、今後も歌い続けていきたいという。旺盛なサービス精神と華やかなイメージの陰で基本を怠ることなく愛し続け、絶えずそれに取り組む。ここに、彼のプロフェッショナルとしての確かな見識を感じさせる。錦織健こそは、日本を代表する真の「実力派テノール歌手」なのである。



## 錦織 健 Ken Nishikiori (Tenor)

国立音楽大学卒業。文化庁オペラ研修所第5期修了。文化庁在外研修員としてミラノに、また、五島記念文化財団の留学生としてウィーンに留学。

第17回ジロー・オペラ賞新人賞、第4回グローバル東敦子賞、第1回五島記念文化賞新人賞、第6回モービル音楽賞洋楽部門奨励賞受賞。

1986年「メリー・ウイドウ」カミーユ役でデビュー、以後、「こうもり」アルフレード、「魔笛」タミーノ、「セヴィリアの理髪師」アルマヴィーヴァ伯爵、「アルバート・ヘリング」アルバート、「ポッペアの戴冠」ネロ、「スペインの時」ゴンサルヴェ、「リゴレット」マントヴァ侯爵、「イドメネオ」イダマンテ、「コシファン・トゥッテ」フェランド、「ドン・ジョヴァンニ」ドン・オッターヴィオ、「椿姫」アルフレード、「ファウスト」ファウスト、「蝶々夫人」ピンカートン、「学生王子」カール・フランツ役等の他、三木稔作曲「ワカヒメ」「静と義経」や、三枝成彰作曲「千の記憶の物語」「忠臣蔵」といった邦人作品にも意欲的に出演し、いずれも好評を博している。

また、ベートーヴェン「ミサ・ソレムニス」「交響曲第9番」、ヘンデル「メサイア」、モーツァルトやヴェルディの「レクイエム」等のソリストとして高く評価を受け、親しみやすいトークを交えたりサイトルでも、多くのファンを魅了している。この他、2000年、03年のNHK紅白歌合戦などテレビやラジオ番組への出演や、2002年からはオペラ・プロデュースも始め、2015年2-4月には第6弾モーツァルト作曲「後宮からの逃走」を手がける予定。2012年4月よりNHK-FM「DJクラシック」のパーソナリティーを務めている。

CDは、ポニー・キャニオンより「初恋」「恋人を慰めて」「すみれ」「砂山」「秋の月」「錦織健 日本をうたう～故郷～」「錦織健 アリアを歌う」等が発売されている。

©三浦興一

## 河原忠之 Tadayuki Kawahara (Piano)

国立音楽大学卒業。同大学大学院修了。1991年に渡伊し、故アルド・プロッチィ氏のもとオペラ伴奏ピアニストを務め数々の演奏会に出演。またマリア・カルボーネ女史のもとでは伝統的なイタリアオペラの表現にとどまらず、発声法・ディクッション等も取得。帰国後はサイトウキネンフェスティバル等でコレペティトゥールとして活躍。

2008年NHKニューイヤーオペラコンサートにおいて、プッチーニの生の映像をバックにプッチーニのピアノ・ソロを演奏し好評を博すなど、ピアニストとしてその幅広い音色、繊細な音楽表現には定評がある。

2006年江原啓之「スピリチュアル・ヴォイス・カウントダウン」大阪城ホールにて大阪センチュリー交響楽団を指揮し指揮者としても活動を開始し、2009年11月の国立音楽大学音楽研究所公演プッチーニ「ラ・ロンドィネ」にてオペラ指揮者としてもデビュー。2010年2月に自身が主宰するGruppo Kappa Opera旗揚げ公演「ヘンゼルとグレーテル」が各方面からの絶賛を浴び、2012年にはニーノ・ロータ「ノイローゼ患者の一夜」、プッチーニ「ラ・ボエーム」を指揮するなど、近年は指揮者としても活躍。2013年は1月に東京で「ノイローゼ患者の一夜」とモーツァルト「コジファン・トゥッテ」を指揮、6月には大阪 いずみホールでヴェルディ「シモン・ボッカネグラ」を指揮し、好評を博す。

2011年3月から、歌を知り尽くしたピアニストと彼のピアノに信頼を寄せる歌手たちが、毎回ひとりの作曲家の歌曲の広く豊かな音の世界を声で染め上げる「歌霊」シリーズを開催。国立音楽大学及び大学院准教授。



代表的なアリアの数々を、円熟味を増した歌唱で全曲新録！ 錦織健の新たな魅力満載の愛蔵版！

### 錦織健 / アリアを歌う

CD: PCCR-00573 (ポニーキャニオン)

¥3,086 (税込) [2013年10月発売]

●誰も寝てはならぬ「トゥーランドット」より ●私を泣かせてください「リナルド」より ●恋人をなぐさめて「ドン・ジョヴァンニ」より ●なんと美しい絵姿「魔笛」より ●人知れぬ涙「愛の妙薬」より ●あれかこれか「リゴレット」より ●ほおの涙が「リゴレット」より ●なんとすばらしい美人「マン・レスコー」より ●泣くなり「トゥーランドット」より ●妙な調和「トスカ」より ●星は光りぬ「トスカ」より ●さらば愛の家「マダム・バタフライ」より ●ザ・ミュージック・オブ・ザ・ナイト「オペラ座の怪人」より



日本の美しい情景を綴った代表的な叙情歌の数々を錦織健が自ら選曲し、全曲新録した決定盤！

### 錦織健 / 日本をうたう～故郷～

CD: PCAA-03486 (ポニーキャニオン)

¥2,571 (税込) [2011年9月発売]

●故郷 ●ゴンドラの唄 ●初恋 ●赤とんぼ ●この道 ●ベチカ ●鐘が鳴ります ●松島音頭 ●かやの木山の ●箱根八里は ●からたちの花 ●朧月夜 ●さくらさくら ●月の沙漠 ●夏の思い出 ●椰子の実 ●仰げば尊し ●故郷～アカペラ・コーラスVer.～